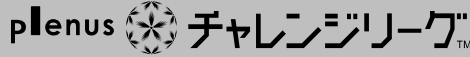


節	開催日	HOME AWAY	キックオフ	対戦相手	会場
第1節	4月10日	A	3-0	常盤木学園高等学校	宮城県サッカー場Aグラウンド
第2節	未定	A	未定	日本体育大学女子サッカー部	日本体育大学横浜健志台キャンパスサッカーG
第3節	4月24日	H	4-1	ノルディア北海道	西が丘サッカー場
第4節	4月29日(金・祝)	A	0-3	JFAアカデミー福島	御殿場高原時之栖Aグラウンド
第5節	5月15日(日)	H	1-0	AC長野パルセイロレディース	大井ふ頭中央海浜公園スポーツの森第二球技場
第6節	5月29日(日)	H	12:00	常盤木学園高等学校	江戸川陸上競技場
第7節	6月4日(土)	H	12:00	日本体育大学女子サッカー部	赤羽スポーツの森公園競技場
第8節	6月19日(日)	A	14:00	ノルディア北海道	札幌サッカーアミューズメントパーク
第9節	6月25日(土)	H	15:00	JFAアカデミー福島	世田谷区世田谷公園
第10節	7月2日(土)	A	14:00	AC長野パルセイロレディース	南長野運動公園総合球技場
第11節	未定	A	未定	常盤木学園高等学校	未定
第12節	9月3日(土)	A	13:00	日本体育大学女子サッカー部	日本体育大学横浜健志台キャンパスサッカーG
第13節	9月11日(日)	H	11:00	ノルディア北海道	駒沢オリンピック公園陸上競技場
第14節	9月18日(日)	A	14:00	JFAアカデミー福島	御殿場高原時之栖Aグラウンド
第15節	9月25日(日)	H	13:00	AC長野パルセイロレディース	世田谷区世田谷公園

※試合日時、会場は変更になる可能性があります。 なでしこリーグホームページで御確認下さい。 <http://www.nadeshikoleague.jp/>



順位	チーム	勝点	試合数	勝	分	負	得	失	得失点差
1	常盤木学園高等学校	12	5	4	0	1	21	6	15
2	JFAアカデミー福島	12	5	4	0	1	12	6	6
3	スフィード世田谷FC	9	4	3	0	1	8	4	4
4	日本体育大学女子サッカー部	6	5	2	0	3	14	10	4
5	ノルディア北海道	1	4	0	1	3	4	18	-14
6	AC長野パルセイロレディース	1	5	0	1	4	5	20	-15

順位	選手	チーム	得点数
1	京川 舞	常盤木高	8
2	道上 彩花	常盤木高	5
3	仲田 歩夢	常盤木高	4
3	久保田 麻友	日体FC	4
5	河合 奈世	日体FC	3
5	川島 はるな	ac福島	3
5	山本 摩也	S世田谷	3

順位	チーム	勝点	試合	勝	分	負	得	失
1	常盤木学園高等学校	38	15	12	2	1	63	18
2	JFAアカデミー福島	34	15	11	1	3	46	26
3	日本体育大学女子サッカー部	26	15	8	2	5	29	19
4	AC長野パルセイロレディース	15	15	4	3	8	23	38
5	ノルディア北海道	8	15	2	2	11	10	36
6	清水第八フアアス	8	15	2	2	11	14	48

順位	チーム	勝点	試合数	勝	分	負	得	失	得失点差
1	FC高梁 吉備国際大学	15	5	5	0	0	22	3	19
2	スベランツァF. C. 高槻	12	5	4	0	1	19	7	12
3	ジュプリール鹿児島	7	5	2	1	2	14	8	6
4	パニーズ京都SC	7	5	2	1	2	8	9	-1
5	静岡産業大学磐田ボニータ	3	5	1	0	4	16	14	2
6	アギリス神戸	0	5	0	0	5	1	39	-38

## 復調した女王との再戦。真価が問われる真剣勝負！

未消化試合が残る中、第5節終了(5/15)時点で勝点9が3チーム、誰も予想できなかったスフィードの上位争い参戦だったが、5/22に先に1試合ずつ消化した常盤木とac福島が共に勝利して勝点を12に伸ばしている。今節、スフィードは何としても勝点3をもぎ取りたい。前節難しい試合をモノにし、勝点3を積み上げたことで、残留への道が大きく開けたが、開幕戦でジャイアントキリングを達成した女王・常盤木をホームに迎え、サポーターの期待は否が応にも上がっているし、上位争いに食い込み続けることは自分達のモチベーションにもなる。そしてなにより

もチームの真価を証明したいところだ。当然、自分達で掴んできた今の結果に疑心暗鬼になる必要はないが、色々な意味を持つ試合になる。試合予想に目を向けてみよう。ハッキリ言って調子を上げてきた今の常盤木攻撃陣の圧倒的な個人技を抑えながら失点のリスクを回避する事は現実的ではない。開幕戦と同じく、自分達のスタイルを貫き、ノーガードの打ち合いで活路を見出すべきだろう。リーグ最大得点数を誇る常盤木の攻撃陣とリーグ最少失点のスフィード守備陣の攻防は必見だ。恐れずに厚みのある攻撃を仕掛け躍動感溢れる試合を期待したい。

気になる故障者だが、ようやく主力選手達の怪我の回復に見通しが立ってきた。No15笹子は前節先発出場、No14中麻は先日行われたユニバーシアード女子日本代表の候補合宿で全メニューを消化した。ただ直前のトレーニングマッチには出場せず、笹子と共に100%の状態にはほど遠いがそれでもトレーニングでは輝きを放つ。ただし100%ではないコンディションの選手で通用するほど常盤木は甘くはない。上位を争う3チーム中で極端に少ない8得点というデータから見て、FW陣の奮起が今後のチーム躍進には必要不可欠だろう。



### No.11 永田真耶選手インタビュー

——トプリング2年目、活躍の場をチャレンジリーグに移しました。移籍の経緯を教えてください。  
自分より成長できるチームを求めた結果がスフィードでした。なでしこリーグからチャレンジリーグに場所は移りましたが、目指す所もハッキリしていますし、今までで最も充実しています。今は「チームの為に」という気持ちがとても強いです。  
——チームではどのような役割を求められていますか？  
年齢としては上ですし、チームを引っ張って行く事、今までの経験を伝えて行く事も求められていると思います。チームメイトにはプレーの中で何か感じてもらえるように意識しています。特に「走り続ける」プレーは自分のスタイルでもあるので常に意識していますね。  
——インカレファイナル、なでしこリーグ、他の選手に比べると圧倒的な経験値を持っていると思いますが、まだ若いチームをどう見えていますか？  
若いチームにだけ一人ひとりにチームにもすくひのびろを感じています。これから経験を積んで行けば本当に楽しみです！サポーターの皆さんには私も含めてこれからのスフィードの成長を見てほしいと思います！何かを感じて頂けるように毎試合全力で、精一杯頑張ります。声援が私達の力になり苦しい時も背中を押してくれますのでこれからも是非応援して下さい！

### No.2 福原菜緒選手インタビュー

——昨年の入替戦後、開幕までのコンディションづくりに苦しんでいた印象がありました。  
昇格の達成感が強すぎて気が抜けました(笑)なかなか体重が落ちなくて身体のバランスも崩してしまいましたね。  
——いざ開幕を迎えると、ここまで毎試合豊富な運動量でサイドからチームを牽引していますか？  
本当にぎりぎりまでコンディションが上がらなかったんですけど、開幕戦のピッチに立ったら気が引き締まって、ここまで来たんだって思ったら、やるしかない！と。  
——常盤木との第2戦です。これまでの対戦を見ると下馬評ほどの力差は無いとも取れますか？  
まだまだ差があります。選手個々の基本技術の差は歴然ですね。ボールも人も動かし、数的優位の局面を多く作って対抗します。スフィードにとって格上ばかりで毎試合全力でぶつかるしかないのでは頑張ります！  
——サポーターへメッセージをお願いします。  
いつも応援ありがとうございます！みなさんの声援が背中を押してくれるので何でもサイドを駆け上がれます！持ち味は攻撃参加でDFですが常にゴールも狙ってますので期待して下さい！

